

2023 年の高温条件でも 果皮着色・蜜入りが優れるリンゴ「べにこはく」

福島県農業総合センター 果樹研究所 栽培科

- 1 部門名
果樹－リンゴ－品質・食味
- 2 担当者名
阿部初紀、佐久間宣昭
- 3 要旨

リンゴの成熟期の高温は果皮着色や蜜入りに影響することが知られている。2023 年産の「ふじ」は成熟期の高温により、例年に比べて果皮着色や蜜入りが劣ったが、このような気象条件下でも、本県育成リンゴ品種である「べにこはく」は果皮着色や蜜入りが優れた（表 1、図 1）。

- (1) 「べにこはく」の糖度は 14.5° Brix 程度と「ふじ」と同程度であり、リンゴ酸含量は 0.5g/100ml 前後と例年と比較して低かった（表 1）。
- (2) 「べにこはく」の果肉硬度は、「ふじ」に比べて高く維持された（表 1）。

表 1 「べにこはく」と「ふじ」の果実品質（2023年）

品種	調査項目	11/7	11/14	11/21	11/28	12/5	前年*
べにこはく (マルバ台)	糖度 (° Brix)	14.3	14.9	14.7	14.5	14.7	14.7
	リンゴ酸 (g/100ml)	0.55	0.51	0.50	0.47	0.51	0.65
	糖酸比(糖度/リンゴ酸)	26	29	29	31	29	23
	蜜入り指数**	4.7	4.5	3.9	4.4	4.7	3.5
	果肉硬度(lbs)	14.8	15.2	15.2	14.5	14.7	16.9
ふじ (マルバ台)	糖度 (° Brix)	14.6	14.9	14.5	13.1	—	15.7
	リンゴ酸 (g/100ml)	0.28	0.35	0.25	0.27	—	0.47
	糖酸比(糖度/リンゴ酸)	52	43	58	49	—	33
	蜜入り指数**	1.5	1.0	1.0	1.0	—	2.0
	果肉硬度(lbs)	12.0	11.8	11.9	12.8	—	12.1

*前年値は、「べにこはく」11/25収穫果、「ふじ」11/21収穫果。 **蜜入り指数：1(無)～3 (中) ～5 (多)



図 1 果皮着色と蜜入り状況

- 4 成果を得た課題名
 - (1) 研究期間 令和 3～7 年度
 - (2) 研究課題名 県オリジナル果樹品種の安定生産技術の確立
- 5 主な参考文献・資料

(1) 滝田雄基ら，リンゴ新品種「リンゴ福島 6 号」の育成，福島県農業総合センター研究報告，8，p.29-38, 2016.